

① 検討会の目的



検討会開催目的

- 世界遺産地域の海域の価値を高める
- エコツーリズム戦略の策定を視野に入れたモデルケース(①多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継ぐ、②利用者により良い自然体験を提供、③地域経済の発展の促進)

<範囲>
知床国立公園斜里側海域及び周辺海域
<検討期間>
平成22年度～24年度



到達目標

- ウトロ海域を利用する人間と海鳥の双方にとって好ましい状態の創出
(Win-Winの関係)
- ウトロ海域を利用する全ての関係者それぞれにとって好ましい状態の創出
(Win-Win-Win-...の関係)

自然環境を将来にわたり適正に保全・管理していくことを目的として、海鳥等の野生動物の保護と原生的な自然環境の保全、及び海域における様々な産業活動(漁業、レクリエーション利用等)との両立をはかることを目指す。

5

この検討会の位置づけ

本検討会を「知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議」の個別会合として位置づける。

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議

- ・平成22年6月に、知床世界自然遺産地域の適正な利用およびエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継いでいくために設置。
- ・学識経験者を含む「知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムWG」と、地域関係団体を含む「知床世界自然遺産地域連絡会議 適正利用・エコツーリズム部会」の合同開催により組織。
- ・①多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継いでいくこと、②利用者により良い自然体験を提供すること、③地域経済の発展を促進すること、を目的として、適正な利用およびエコツーリズムの推進を図るための、「エコツーリズム戦略」の策定することとなった。
- ・全体会合と個別会合に分けて検討を行い、全体会合ではエコツーリズム戦略を、個別会合では羅臼湖や海域レクリエーション等の個別課題を議題とする。

② 背景



背景

- ① 世界遺産において野生動物との出会いを求める利用者ニーズ。
- ② 世界遺産管理計画の作成。この中で世界的に希少な海鳥類の重要な生息地であるという価値の維持が求められている。
- ③ 自然公園法改正により、法律の目的に生物多様性が追加された。
(平成22年4月施行)
- ④ 知床国立公園の利用適正化検討会議での取り組みの経緯。
(利用適正化基本計画、利用の心得)

ウトロ海域の特徴

① 流氷によってつくられた景勝地



② 北の海を支える流氷



③ 北の海の幸（漁業）



④ 多くの動物をはぐむ生態系
(海鳥・海獣類・海辺で見られる哺乳類)



9

ウトロ海域の特徴

ケイマフリはどんな鳥？ ケイマフリ=チドリ目ウミスズメ科 *Cepphus Carbo*

ハトよりひとまわり大きい。目のまわりが白く、赤い足が特徴

ケイマフリ=アイヌ語「赤い足」

日本での生息数…700羽以下※

- 北海道の繁殖地※2
天売島・知床半島・ユルリ島・モユルリ島・松前小島・根室半島周辺の島嶼部など
- 道外繁殖地※2
下北半島 弁天島・尻屋崎
- 絶滅危惧Ⅱ類
(絶滅の危険が増大している種)

○北海道全体
10年間(1992~2002年頃)で約8~14%の減少※3



ケイマフリ繁殖地

※小坂章雄 1996.in 坂澤郁子 2005.修士論文青森県尻屋崎岬の弁天島におけるケイマフリの生殖生態
※2山崎・環境省生物多様性センター 生物多様性情報システム 絶滅危惧種情報
※3Y.Oasa, Y.Watanuki, 2002.Japan Ymashina Inst, Ornithol.33,107-104

10

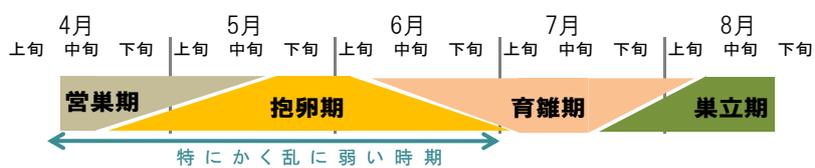
ウトロ海域の特徴

ケイマフリはどんな鳥?…繁殖期の行動

ケイマフリ=チドリ目ウミスズメ科 *Cepphus Carbo*

ケイマフリの子育て <青森の例>

- 卵…一腹二卵（一夫一妻）・年1回繁殖
- 営巣場所…崖地の穴や岩の割れ目
- 給餌※…1回1匹 15回/日(青森弁天島)
- 採餌※…昼行性（早朝～午後1時ごろまでが活発）沿岸部
巣穴に入る前に付近の海上で待機することが多い。

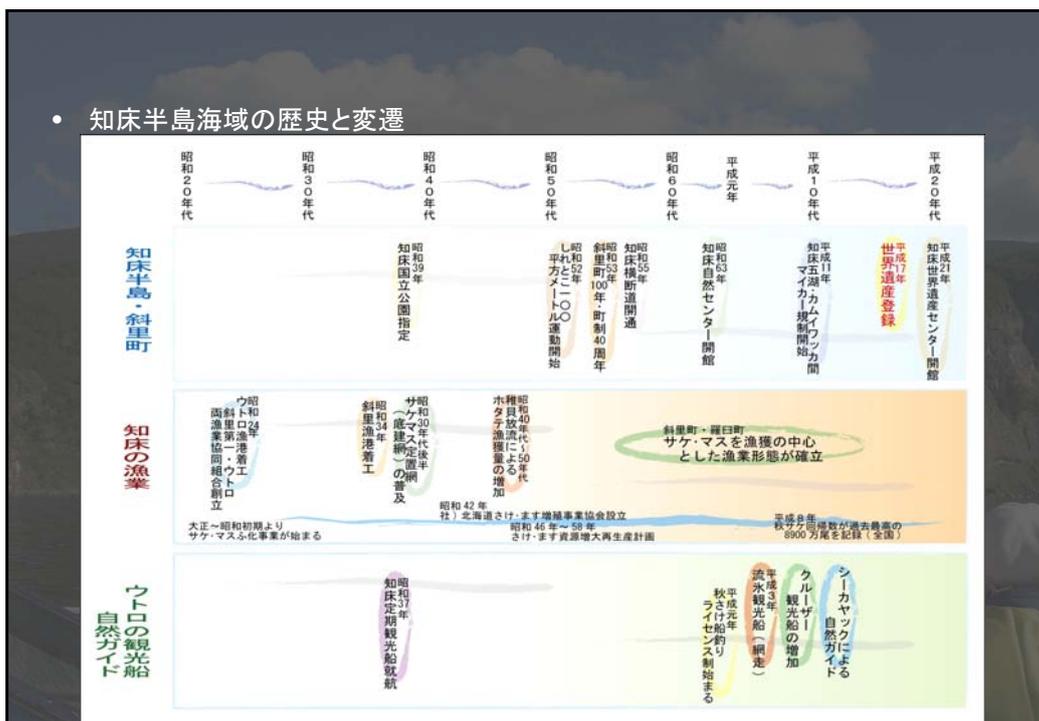


※桜澤都子,1999.修士論文青森県尻屋崎岬の弁天島におけるケイマフリの生殖生態

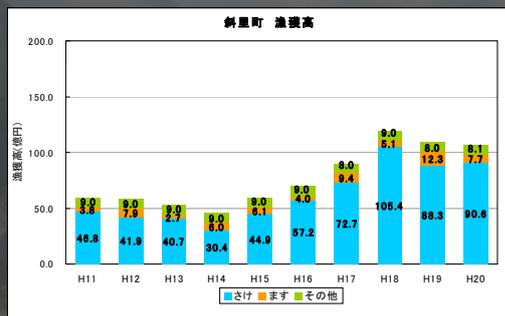
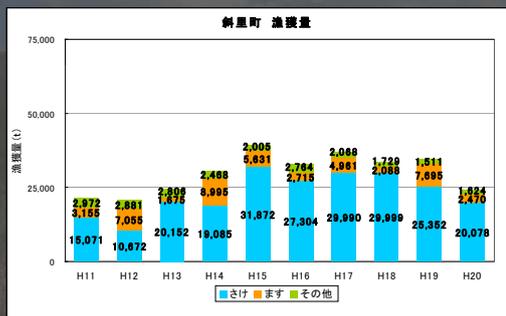
ウトロ海域で見られる代表的な海鳥



知床半島海域の歴史と変遷



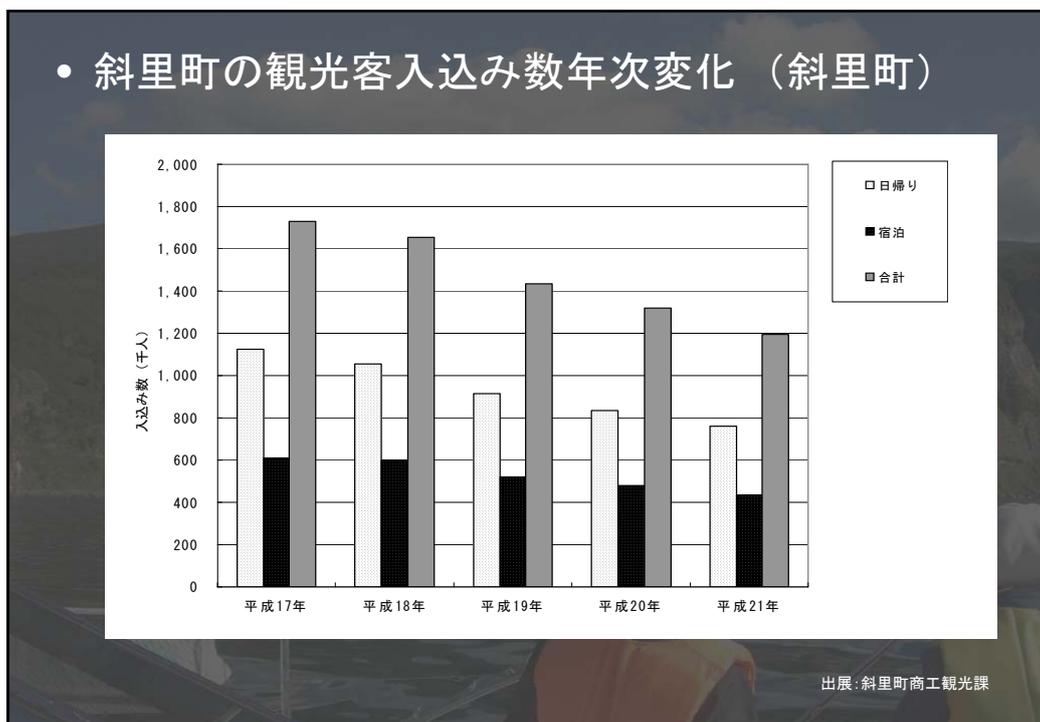
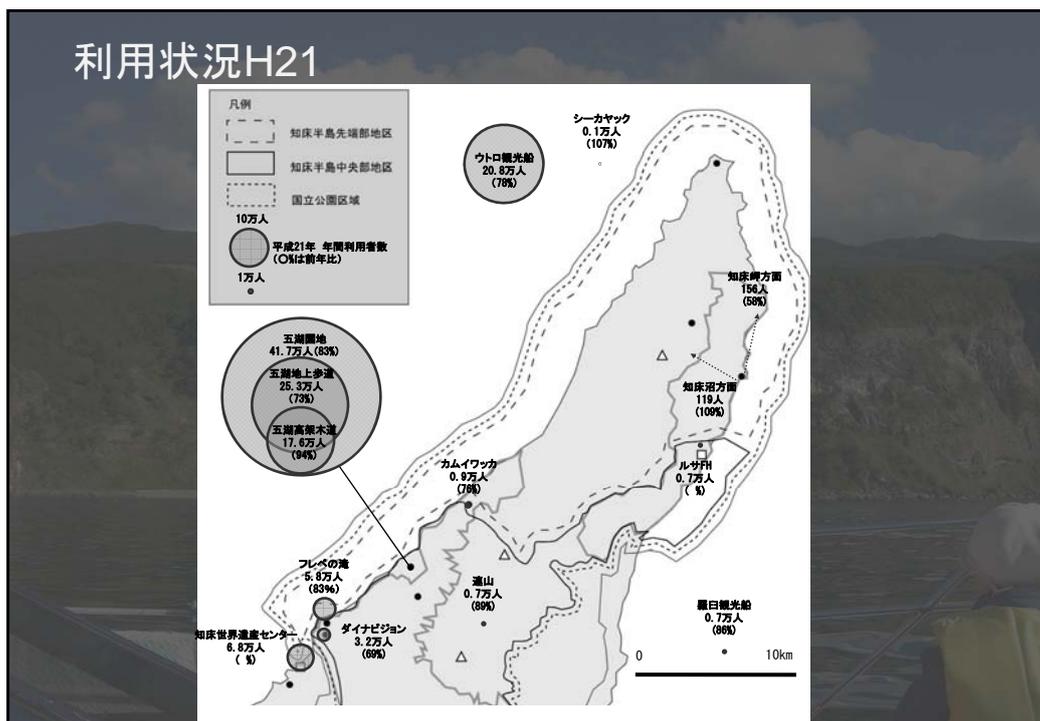
漁獲高の割合 管内数値と斜里町の比較



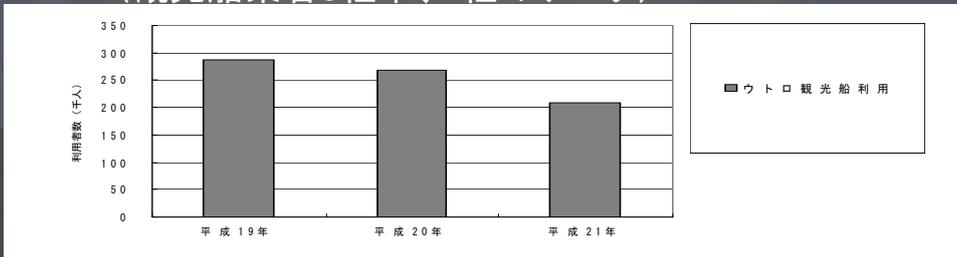
サケ海外需要の高まり

漁獲高の急伸

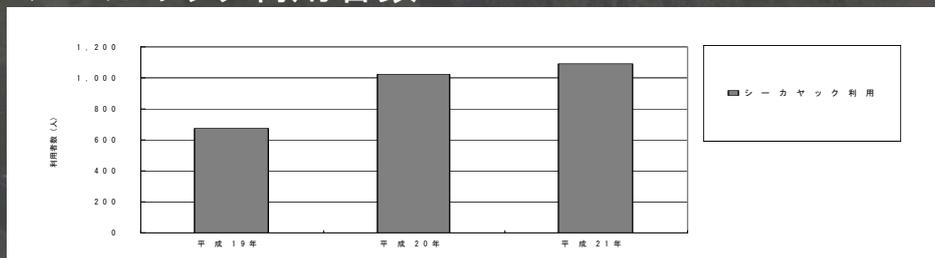
出展: 平成20年度 知床国立公園年次報告書 環境省
資料: 「平成20年北海道水産現勢」 北海道水産林務部



• ウトロ観光船利用者数
(観光船業者8社中、4社のデータ)



• シーカヤック利用者数



出展:平成21年度知床国立公園利用適正化検討調査業務 報告書



出展:平成21年度知床国立公園利用適正化検討調査業務 報告書

○シーカヤックルート

(全国シーカヤッキング55MAP、2005,山と溪谷社)



ウトロ海域の様々な利用



漁業



船釣り



大型観光船



シーカヤック



小型観光船

③ 課題



課題

- 海鳥と人との利用の共存
(ケイマフリ・海ワシ)
- 海域利用者同士の好ましい状態の創出(Win-Winの関係)
(漁業者・観光船・シーカヤック・釣り船)



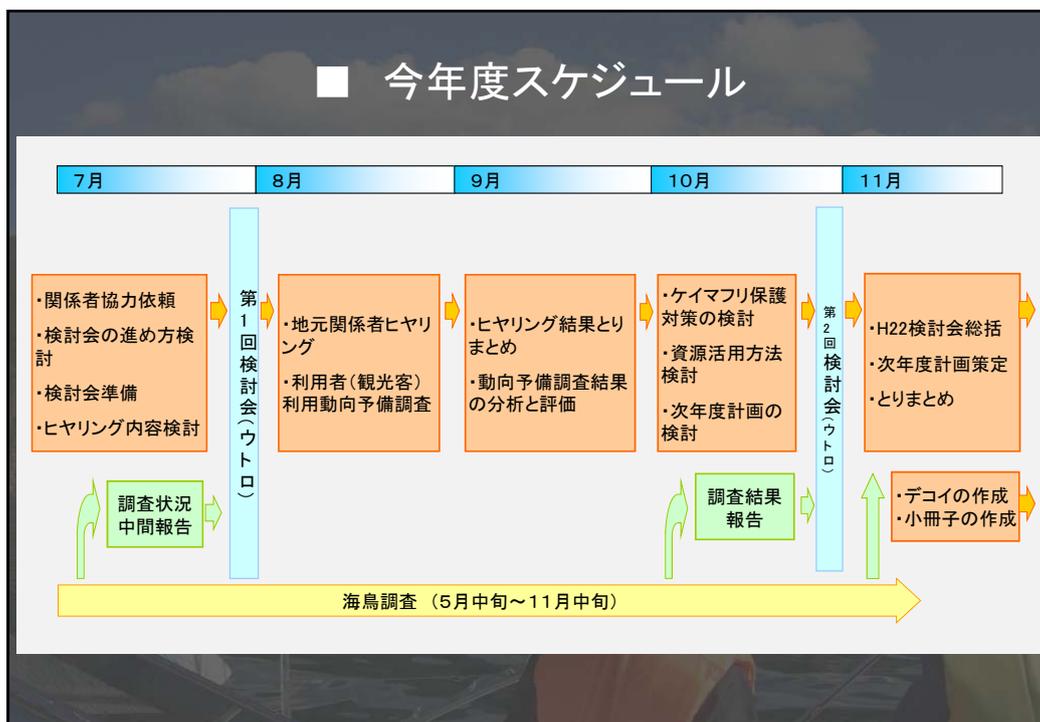
④ 解決に向けた提案



検討会の年次スケジュール(案)

| | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|------------------------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------|
| 自然観光資源の価値の向上 | | | |
| ケイマフリ繁殖地の再生実験 | デコイ製作 | デコイ設置、誘引効果モニタリング | 誘引効果モニタリング |
| 海鳥の生態調査 ・ウトロ～岬の分布 ・生息状況、採食状況 | 生態調査 ・本調査 ・モニタリング | 生態調査 ・追加調査 ・モニタリング | 生態調査 － ・モニタリング |
| 利用機会の拡大 | | | |
| 利用動向調査 | 予備調査(利用者アンケート) | 本格調査(利用者アンケート) | 本格調査(利用者アンケート) |
| 魅力的な航路開発 | － | 新航路の検討 | 新航路の試行 |
| 各種海域利用者間の調整 | | | |
| 漁業、遊漁、シーカヤック等の状況把握 | 関係者ヒアリング 課題整理 | 実態調査 | 検討・調整 |
| 広報普及啓発 | | | |
| 海域利用の楽しみ方のPR | 小冊子作成 | － | 観察会開催等 |

■ 今年度スケジュール



今年度実施中の海鳥調査内容について

• 海鳥の海上センサス調査



• 海鳥の生息状況調査

(1)ケイマフリ生息・営巣状況調査

(2)ケイマフリの営巣状況調査

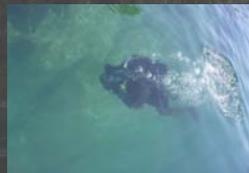
(3)海鳥の繁殖分布状況調査



• ケイマフリの採食状況調査

(1)ケイマフリ採食・食性調査

(2)ケイマフリの採餌場所調査



⑤ その他

